第５号議案

令和７年度事業計画（案）

定款の目的及び事業に基づき活動する

米沢工業会は、目的と目的を達成するための事業について定款に以下のように定めている。

【米沢工業会の目的】定款　第４条（目的）
一般社団法人米沢工業会は、山形大学工学部、山形大学大学院理工学研究科（工学系）、山形大学大学院有機材料システム研究科における教育・研究、国際交流活動等の支援、および社会における科学技術に関する調査、研究、並びに研修等の支援事業を行い、もってわが国の学術、文化の発展に寄与することを主たる目的とする。またこの目的を達成するために、会員相互の親睦をはかる事業も併せて行うものとする。

定款　第５条（事業）
一般社団法人米沢工業会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。
1）大学の研究及び研究活動に対する支援事業
2）科学技術の普及、促進、振興に関する事業
3）会員の友誼を深める事業
4）土地賃貸等の収益事業
5）そのほか、前各号の事業に関連する事業

定款の定めに基づいて以下の事業を行う。詳細を「一般社団法人米沢工業会の事業区分図」に示す。

1. 公益目的事業
公１　母校の教育及び研究活動に対する支援事業
公２　科学技術の普及、振興に関する事業

2. 特定寄附
寄１　山形大学への寄附

3. その他事業等
(1) 収益事業
収１　不動産貸付事業（五色寮跡地の無償貸付）
(2) その他の事業
他１　会員の友誼を深める事業

4. 共通事業（公益事業及び収益事業）

5. 法人の管理事業

＜課題への取り組み＞
理事をメンバーとした下記4委員会でそれぞれのテーマの課題と対策について検討を行った。
- 会費納入会員の減少並びに会費納入の減少
- 広報のあり方
- 在学生との交流と本会活動への学生の参画
- 支部の再編と代議員選挙制度（選挙区・定数等）の見直し

各委員会の検討が一段落したため、それぞれのリーダーによる会議を開催し、取り上げられ

た課題の議論を行い、「特に在学生や若手会員への米沢工業会の認知度が低く、認知度を高めていく必要がある。そのためにすぐに取り組めるものから、具体的な行動に移す。」との提言が示された。

これを受けて、在学生や若手会員の認知度を高めるために「会誌会報の見直し」と、「在学中に米沢工業会の活動を知ってもらう」の２点について、検討していくこととした。

1）会誌会報の見直し

① 会誌会報のデジタル化（紙媒体との併用）

② 会誌会報の掲載記事を見直し（在学生や若手会員の関心を惹くものにする。）
在学生の視点を加えた誌面内容の見直しやデジタルツールの活用を検討する。

2）在学中に米沢工業会の活動を知ってもらう

本会活動の周知を徹底するため、新２年生へのオリエンテーションや国際学会参加者への助成事業、サークルへの支援事業、就職への支援などを行っているが、学生の活動を支援していることを様々な手段を用いて周知を図る。

＜新会員管理システムへの移行＞

令和６年７月に新会員管理システムの使用を開始した。（システム名称はPalSyne（以下、パルサインという）、管理会社はワンネットシステム㈱）

新システムに移行した主たる理由は、これまでのシステムは、地元設備管理会社にあるシステムサポート部門に依頼した米沢工業会のオーダーメイド仕様のシステムで、システム部門のメンバーが少数のため、将来に亘ってのサポート体制に不安があること、また、当会の専用設計のためシステム改修の度に多額の費用が発生しているためである。パルサインは、同窓会会員管理システムを専門とする会社でサポート体制も十分であり、他大学同窓会の会員管理システムで数多くの納入実績があり、システムの拡張性などを考慮し採用を決定した。

25年９月時点で既存のシステムと並行して運用しているが、25年中にプログラムを整備する予定であり、新システムへの単独運用を行う。

＜設備等の更新＞

本部事務室の電話設備は、メンテナンスの保証期限を過ぎても使用を続けてきたが、FAXと通話の切替えができなくなる現象が頻発したため、本年度に電話機も含めて一括更新する。

また、Windows10のサポートが終了するため、年式の古いパソコン４台を更新する。

＜減価償却＞

1）「ホームページリニューアル」費用を5年で償却するため、減価償却費として169,840円を計上した。（継続４年目、2023年１月から）

2）「新会員管理システム」費用を５年で償却するため､減価償却費として869,440円を計上した。（継続２年目、2025年１月から）

3）法人会計に、「新会員管理システムフェーズ２（追加分）」費用を５年で償却するため、減価償却費として132,000円を計上した。（初年度は８ヵ月分、2026年１月から）

4）法人会計に、「電話機設備更新」費用を５年で償却するため、減価償却費として121,000円を計上した。（初年度は９ヵ月分、2025年12月から）

5）法人会計に、「パソコン購入」費用を5年で償却するため、減価償却費として98,000円を計上した。（初年度は９ヵ月分、2025年12月から）

※事業年度期間変更は、新会員管理システムの安定した運用が確認できた段階で検討を開始する。

一般社団法人米沢工業会の事業区分図

公益目的事業

公１　母校の教育及び研究活動に対する支援事業

ア）新進教職員と在学生への学術会議研究発表助成

イ）学術会議等の開催助成（共催・後援）

ウ）教職員と在学生の研修参加の助成（技術職員研修、学生の工場見学等）

エ）在学生（含留学生）へ奨学金支給

オ）教育的諸活動に対する助成（行事（学位記授与式、センター開所式、国際連携サマープログラム等）社会貢献活動、サークル活動、就職活動、学生表彰）

公２　科学技術の普及・振興に関する事業

ア）地域の科学技術の普及・促進活動に対する助成（共催・後援）（少年少女発明クラブ、科学フェスティバル、研究室公開、産学官交流セミナー）

イ）地域の科学技術教育を推進する活動に対する助成（共催・後援）（重要文化財・米沢高等工業学校本館展示品の収集・展示・案内、重文コンサート、学園都市推進協議会、留学生交流活動）

ウ）公益目的事業促進・広報活動（公開講演会・公開研修会・母校の公開教育研究活動報告会）

特定寄附

寄１　山形大学への寄附

国立大学法人山形大学に対して、工学部の教育施設設備の修繕修理保全に必要な資金の一部を助成する。

その他事業等

収益事業

収１　不動産貸付事業

ア）五色寮跡地等を山形大学に貸付（無償）

その他の事業

他１　会員の友誼を深める事業

ア）会員の情報収集活動

イ）会員相互の親睦活動（支部、学科会、同級会等の懇親会、支部長会議、支部助成等）

ウ）記念品贈呈（入学・卒業・卒業満50年会員、卒業満25年会員）

共通事業

共通　会誌・会報発行事業

会誌・会報は、頁数の割合から公益目的事業６割、収益事業等４割に按分する。

法人の管理事業

ア）総会・理事会の開催に関する費用

イ）理事・監事報酬

ウ）会計監査法人報酬

エ）法人運営に関する業務